

【IDWR 感染症週報】

2025 年 19～23 週までをお届けさせていただきます。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-19.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-20.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-21.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-22.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-23.pdf>

<発生動向総覧と状況>

・これまで伝染性紅斑の定点当たり報告数は増減を繰り返している。第 23 週の時点においては増加し、過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い。

・第 22 週 注目すべき感染症では「百日咳」についてピックアップされている。2025 年第 1～21 週に診断された百日咳の累積報告数は 22,351 例であり、全数把握疾患としての報告が開始された 2018 年以降、同時期で最多を記録した。

<性感染症・薬剤耐性菌感染症>

4 つの性感染症（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症）は性感染症定点医療機関（全国約 1,000 カ所）から毎月報告される。2025 年 3 月分の報告を行った性感染症定点医療機関数は 969（産婦人科・産科・婦人科：485、泌尿器科：405、皮膚科：71、性病科：8）であった。詳細は 15 週報告の 3 月コメント（4 月 11 日分）を参照されたい。

薬剤耐性菌感染症〔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染症、薬剤耐性緑膿菌（MDRP）感染症〕は、2 次医療圏毎に 1 カ所以上定められた、病床数 300 以上の基幹定点医療機関（全国約 500 カ所）から毎月報告される。2025 年 3 月分の報告を行った基幹定点医療機関数は 479 であった。詳細は 15 週の報告を参照されたい。

<定点把握の対象となる 5 類感染症>

・インフルエンザ

定点当たり報告数は3週連続で減少した。

・新型コロナウイルス

定点当たり報告数は増加した。

都道府県別の上位3位は沖縄県（3.91）、愛媛県（1.76）、京都府（1.49）である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は322例と前週と比較して減少した。都道府県別では42都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（12例）、1～9歳（16例）、10代（3例）、20代（3例）、30代（6例）、40代（14例）、50代（19例）、60代（27例）、70代（85例）、80歳以上（137例）であった。

・小児科定点報告疾患（主なもの）

RSウイルス感染症

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県（3.42）、新潟県（0.70）、山形県（0.65）である。

咽頭結膜熱

定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県（1.74）、佐賀県（1.33）、島根県（1.27）である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は茨城県（6.61）、愛媛県（6.57）、埼玉県（5.67）である。

感染性胃腸炎

定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県（13.73）、岐阜県（11.30）、愛媛県（11.00）である。

手足口病

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は奈良県（1.54）、高知県（0.60）、岡山県（0.43）である。

伝染性紅斑

定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は栃木県（7.19）、群馬県（6.72）、山形県（6.38）である

ヘルパンギーナ

定点当たり報告数は第 19 週以降増加が続いている。都道府県別の上位 3 位は島根県（1.91）、長崎県（1.58）、福岡県（1.54）である

流行性耳下腺炎

定点当たり報告数は第 20 週以降増加が続いており、過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位 3 位は岡山県（0.32）、鹿児島県（0.26）、京都府（0.20）である。

・基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎

定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位 3 位は秋田県（3.00）、青森県（2.67）、福井県（2.00）である。

感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）

定点当たり報告数は増加した。24 都道府県から 70 例報告があり、年齢群別では 0 歳（2 例）、1～4 歳（10 例）、5～9 歳（45 例）、10 代（13 例）であった。